

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 27 年度第 5 回 議事録 (案)

担当：峯岸邦夫

日時	平成 28 年 1 月 7 日 (木) 15:45~17:55					場所	地盤工学会会議室	
部長	大河原 正文	○	★理事	松本 樹典	○	幹事	峯岸 邦夫	○
部員	浅田 素之	×	部員	伊貝 聡司	○	★部員	海野 寿康	○
部員	長田 昌彦	×	★部員	佐藤 毅	○	部員	仙頭 紀明	○
部員	高柳 剛	○	部員	塚本 良道	○	部員	浜田 英治	×
部員	平井 貴雄	×	部員	藤原 照幸	○	部員	宗像 保男	○
オブザーバー	中川 直	×	オブザーバー	竹下 祐二	○	事務局	長尾 美咲 齊藤 あや	○ ○

★：H27 年度新任 ○：出席 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-27.5.0	平成 27 年度 第 4 回基準部会議事録案
資料-27.5.1	平成 28 年度第二次予算案関連資料
資料-27.5.2	「土質試験 基本と手引き（第二回改訂版）」と土木学会「土質試験のてびき」比較
資料-27.5.3	会長からの要請事項
資料-27.5.4	中長期財政検討委員会ヒアリングメモ
資料-27.5.5	平成 28 年度事業計画まえばん作成依頼
資料-27.5.6	名誉会員候補者推薦依頼
資料-27.5.7	「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」英訳に関する資料
資料-27.5.8	学会の電子化を総括的に議論する WG の発足
資料-27.5.9	岩手建設工業新聞
資料-27.5.10	平成 27 年度予算執行状況
資料-27.5.11	基準部所管出版物リスト (ISBN 番号のない出版物)
資料-27.5.12	赤本 WG メンバー表
資料-27.5.13	地盤工学の「用語」に関する JIS 規格素案への意見に対する検討結果
資料-27.5.14	JIS 地盤工学用語の原案作成委員会の構成
資料-27.5.15	新規制定基準案「水圧破砕法による初期地圧の測定方法」
資料-27.5.16	基準英訳書の英文 HP
資料-27.5.17	「動的コーン貫入試験方法」小冊子の価格と部数
資料-27.5.18	「岩の一軸引張り試験方法」小冊子の価格と部数
資料-27.5.19	「単孔を利用した地下水流向流速測定方法」小冊子の価格と部数
資料-27.5.20	「(改訂版) 地盤調査の方法と解説」「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説 (第 2 回改訂版)」「地山補強土工法マニュアル」見積
資料-27.5.21	理事会 (H27/11/24、12/22) 報告資料
資料-27.5.22	ISO 海外出張

資料-27.5.23	「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」新規基準化WG（WG10） 活動期間延長依頼書
回覧資料	技能試験報告書(案)

1. 前回議事録の確認

(資料-27.5.0, pp.1-7)

峯岸幹事より、資料に基づき前回議事録(案)について説明があり、報告事項3.(9)の報告者を藤原部員から浜田部員に修正することで承認された。

2. 全体関係

(1) 予算ヒアリングと平成28年度第二次予算案

(資料-27.5.1, pp.8-13)

大河原部長より、資料に基づき二次予算については大河原部長および長尾事務局員、齊藤事務局員の3名で案を作成して総務部に提出した旨報告があり、二次案に対して総務部より修正依頼等があったときはメール等で審議を行うことで、承認された。

(2) 「土質試験 基本と手引き(第二回改訂版)」と土木学会「土質試験のてびき」

2010年3月発行、A4判、251ページ、本体価格1600円(税込価格1728円)、会員特価1100円(H27.9月末まで)

(資料-27.5.2, pp.14-18)

大河原部長より、資料に基づき「土質試験 基本と手引き(第2回改訂版)」の販売価格について、競合する土木学会の同種書籍と価格を比較して今後どのように設定したら良いかとの検討依頼があり、審議の結果、すでに丸善に販売委託をした段階で事実上の値上げになっているので、現状維持とすることになった。なお、値上げについては次回改訂版発行時に検討することになった。

(3) 会長の要請事項

(資料-27.5.3, pp.19-20)

大河原部長より、資料に基づき技能試験の今後について会長から検討するように指示があった旨説明があり、審議の結果、技能試験実施委員会作成のロードマップに基づき活動することが承認され、随時、見直し等の検討を行うことになった。

(4) 委員会のあり方

(資料-27.5.4, pp.21-23)

大河原部長より、資料に基づき委員会のあり方について説明があり、継続的に審議をすることになった。なお、資料にある佐藤部長(当時)の回答は、学会の財政が逼迫している時のコメントであり、財政が健全化に近づきつつあるので、その点を考慮して継続審議をした方が良い旨、佐藤部員より提案があった。

(5) 平成28年度事業計画「まえばん」作成依頼

(資料-27.5.5, pp.24-32)

大河原部長より、資料に基づき「まえばん」作成について説明があり、内容については部長に一任することで承認された。

(6) 名誉会員候補者推薦依頼

(資料-27.5.6, p.33)

大河原部長より、資料に基づき説明があったが、審議の結果、今年度は候補者がいないので部会からの推薦は見送ることになった。

(7) 「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」に関する要望

(資料-27.5.7, pp.34-38)

佐藤部員より、資料に基づき説明があり、原案通り承認された(事後承認)。

(8) 学会の電子化を総括的に議論するWG

(資料-27.5.8, pp.39-40)

大河原部長より、資料に基づき説明があり、基準部からは藤原部員を選出することで承認された。

(9) プレスリリース

(資料-27.5.9, p.41)

大河原部長より、資料に基づき説明があり、連載になっているので引き続き地盤関係の話題で寄稿するとのことであった。

(10) 予算執行状況、書籍売上・在庫数

(資料-27.5.10, p.42)

長尾事務局員より、資料に基づき説明があり、英訳化実行委員会が執行率103%になっているがそれ以外はおおむね順調であることが確認された。

(11) 10月からの丸善委託販売関係

・ISBN番号のない出版物の取り扱い

(資料-27.5.11, pp.43-48)

長尾事務局員より、資料に基づき説明があり、赤本・青本に掲載済みの基準(書籍)については、廃棄することで承認された。なお、廃棄OKの書籍の電子化については、新しく発足する「学会の電子化を総括的に議論するWG」に検討を委ねることになった。

(12) その他

大河原部長より、現在学会HPで公開されている英訳基準について、基準英訳化Vol.1が発刊されたので、HPから削除することが提案され、審議の結果、承認された。

基準英訳化Vol.1の販売促進について、学会英文HPに広告用バナーを設置する件について、理事会で大河原部長より報告して、設置できるように働きかけをすることになった。

3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

理事会報告「赤本改訂 WG1、WG4」幹事の追加

(資料-27.5.12, p.49)

藤原部員より、資料に基づき WG1、WG4 の幹事追加の提案があり、審議の結果、原案通り承認された。

(2) 地盤調査規格・基準委員会

特になし

(3) ISO 国内委員会

特になし

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

特になし

(5) 表記法検討委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

特になし

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

特になし

(8) 部員の異動

特になし

4. ISO 国内委員会 関係

特になし

5. 地盤工学表記法委員会 関係

理事会報告 (1) 地盤工学の「用語」に関する JIS 規格素案への意見に対する検討結果

(資料-27.5.13, pp.50-51)

伊貝部員より、資料に基づき「用語」の JIS 素案について説明があり、審議の結果、原案通り承認された。なお、各基準の改訂を検討する際は、当事者間で十分調整を行うことが確認された。

(2) 「JIS 地盤工学用語の原案作成委員会」構成案

(資料-27.5.14, pp.52-57)

伊貝部員より、資料に基づき JIS 地盤工学用語の原案作成委員会構成について説明があったが、宗像部員より、表記法委員会、各基準委員会で個別に審議するのではなく、各委員会からの代表者数名、場合によっては外部からも加えて生産者・利用者・中立者で構成した委員会で審議できるようにした方がよいとの提案があり、再検討することになった。

また、宗像部員より、JSA では3回/年の JIS 制定・改正の募集を行っているので、その制度を利用して JIS 化を進めていく方法もあるとの提案があった。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

理事会報告 (1) 新規制定基準案「水圧破砕法による初期地圧の測定方法」 (資料-27.5.15, pp.58-70)

*今回の資料は、①基準部員からのメールによる指摘事項、②指摘を考慮した修正版、③指摘事項への回答と委員会内でのメール審議結果(承認)、となっています。

浜田部員の代理で大河原部長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし

9. 技能試験実施委員会 関係

特になし

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

(1) 基準英訳書の販売(英語 HP)

(資料-27.5.16, pp.71-76)

高柳部員より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

(2) HP 掲載基準の削除

2. (1 2) で審議済み

理事会報告 (3) 基準英訳書の宣伝 (日本語 HP のバナー)

2. (1 2) で審議済み

1 1. 基準部所管刊行物

(1) 小冊子の販売

①動的コーン貫入試験方法

(資料-27.5.17, p.77-79)

*担当 WG の希望で定価¥1,250 とし、この案で地盤調査委員会内にてメール審議中です (1/15 まで)。今のところ異議は出ていないので、この案で通ると思います。

浜田部員の代理で大河原部長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、地盤調査委員会で承認された場合は、追加で原案通りに承認することになった。

②岩石の一軸引張り試験方法

(資料-27.5.18, pp.80-82)

藤原部員より、資料に基づき説明があり、原案通り承認された。

③単孔を利用した地下水流向流速測定方法

(資料-27.5.19, pp.83-88)

*原稿は事務局に提出済みです。事務局の齋藤さんが見積り依頼の準備中です。その後、価格検討表(案)を作成し、担当 WG と地盤調査委員会にて審議します。

浜田部員の代理で長尾事務局員より、資料に基づき説明があり、審議の結果、継続審議となった。

(2) 「(改訂版) 地盤調査の方法と解説」、「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説 (第 2 回改訂版)」、「地山補強土工法マニュアル」の増刷

(資料-27.5.20, pp.89-94)

長尾事務局員より、資料に基づき説明があり、審議の結果、「(改訂版) 地盤調査の方法と解説」が 1000 部、「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説 (第 2 回改訂版)」が 3000 部、「地山補強土工法マニュアル」が 1000 部の増刷で承認された。

1 2. その他

特になし

報告事項

1. 理事会 (H27/11/24, 12/22) 開催報告

(資料-27.5.21, pp.95-104)

大河原部長より、資料に基づき、基準部に関連する項目について報告がなされた。

2. 全体関係

特になし

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 27 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	100 万円		○		
・三菱総合研究所 (回答作成)	0 万円		○		
・三菱総合研究所 (旧重点TC旅費)	0 万円		○		
・日本建設業連合会	50 万円		○		
・ISO/TC190 関係 (研究委託)	0 万円		○		
・三菱総合研究所 (国際標準開発事業)		840 万円	○		
小計	150 万円	840 万円			
合計	990 万円				

浅田部員の代理で峯岸幹事より、上表に基づき報告がなされた。

② 国際会議派遣

(資料-27.5.22, p.105)

浅田部員の代理で長尾事務局員より、資料に基づき報告がなされた。

(2) 地盤工学表記法委員会

特になし

(3) 室内試験規格・基準委員会

① 赤本改訂 グループリーダー会議議事録

特になし

② JIS L 0221 (ジオシンセティック用語) 及び JIS L 1908 (ジオテキスタイル試験方法) に関して

藤原部員より、JIS L 0221 (ジオシンセティック用語) 及び JIS L 1908 (ジオテキスタイル試験方法) の所管を経済産業省から国土交通省に移管して、「L」から「A」への変更(廃止と制定)申出を予定していることが報告された。宗像部員から「A」に移管しても製品の所管は経済産業省なので国土交通省にはならない。また「A」は制定扱いになり、地盤工学会において関係者で構成した委員会で審議した上での案を申出していただいて、日本工業標準調査会で審議することになるとの補足説明があった。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

特になし

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

藤原部員より、次回委員会が 1/15 開催予定であることが、報告された。

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

特になし

(8) 英文HP

特になし

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

●H27 年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	大河原 正文	5/12, 7/21, 9/15, 11/5, 1/7
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	今村 聡 木幡 行宏 川端 淳一 坂井 宏行 宮田 喜壽	5/8, 7/10, 10/21, 12/10
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG10 「土質試験-基本と手引き」改訂編集 WG ・WG13 岩石の一軸引張試験基準化 WG ・WG14 過酸化水素水による土および岩石の酸性化可能性試験方法基準化 WG	川崎 了 (松川尚史) (肴倉宏史) (神谷浩二) (片岡沙都紀) (藤岡一頼) 木幡 行宏 大島 昭彦 谷 和夫 川地 武	6/19, 12/4 10/29 7/15 5/14, 7/24, 9/30, 11/6

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 载荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査 ・WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準化WG *WG10はH28.3までとなっていますが、あと1年間の延長依頼が出ています（WG3と同時に活動するので、予算はゼロです）。現在、親委員会にてメール審議中です（1/15まで）。今のところ異議は出ていません（資料-27.5.23, p.106）。 ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG	利藤 房男 斉藤 秀樹 正垣 孝晴 進士 喜英 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 伊藤 高敏	7/7, 10/8 6/8, 9/25, 1/18 4/13, 12/11 5/20, 8/20, 12/10
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	木幡 行宏 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法検討委員会 ・WG-A	大島 昭彦	
技能試験実施委員会	日置 和昭	7/13, 1/15
基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二	7/2, 11/5, 1/7

峯岸幹事より、上表に基づき報告がなされた。

5. その他

- 1) 理事会（平成28年1月26日（火））への審議事項・報告事項
審議事項はなし、報告事項は本議事録（案）中に朱書きで「**理事会報告**」した事案
- 2) 総務部会（平成28年1月12日（火）開催予定）への提案事項
特になし
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 27年度第6回：第1案 平成28年 月 日（ ） 14:00～
第2案 平成28年 月 日（ ） 14:00～
後日、2/22～3/4の間で調整
(対応理事会 H28.1.26 or H28.2.24)

★ 平成27年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月22日（水） ※書面審議
- ② 5月15日（金）
- ★ 6月11日（木） **総会／理事会**
- ③ 6月18日（木） ※書面審議
- ④ 7月28日（火）
- ⑤ 10月6日（火）
- ⑥ 10月28日（水） ※書面審議
- ⑦ 11月24日（火）
- ⑧ 12月22日（火） ※書面審議

- ⑨ 1月26日(火)
- ⑩ 2月24日(水) ※書面審議
- ⑪ 3月15日(火)

-
- ⑫ 4月20日(水) ※書面審議
 - ⑬ 5月17日(火)
 - ★ 6月9日(木) 総会/理事会

以上